

NPO 法人あざれあ交流会議 令和 6・7 年度調査研究事業
「職場における産休・育休・時短勤務利用者に対するフォロー従業員の意識調査」
アンケート調査票

問 1) あなたの年代をお答えください

1. 10 代
2. 20 代
3. 30 代
4. 40 代
5. 50 代
6. 60 代以上

問 2) あなたの性別をお答えください

1. 男性
2. 女性
3. 回答しない

問 3) あなたは結婚していますか

1. 未婚
2. 既婚
3. 離婚・死別
4. 回答しない

問 4) あなたには、お子さんがいらっしゃいますか

1. あり
2. なし (⇒問 6 へ)
3. 回答しない (⇒問 6 へ)

問 5) 前問でありと回答された方。お子さんの年齢で当てはまる選択肢を全てお答えください(複数回答可)

1. 小学校入学前
2. 小学生
3. 中学生
4. 高校生
5. 専門学生・大学生・大学院生
6. 社会人
7. わからない(不明)

その他

問6) どのような就業形態で働いていますか

1. 正規の職員・従業員
2. 契約社員（直接雇用）
3. 期間工・期間社員（直接雇用）
4. 嘱託社員
5. 短時間のパート・アルバイト
6. フルタイムのパート・アルバイト
7. 派遣労働者
8. 会計年度職員

その他

問7) 業種をお答えください

1. 情報通信業
2. 宿泊・飲食サービス業
3. 不動産業
4. 金融業・保険業
5. 卸売業・小売業
6. 医療・福祉（保育含む）
7. 建設業
8. 製造業
9. 電気・ガス・熱供給業・水道業
10. 運輸・倉庫業
11. 学術研究・専門・技術サービス業
12. 教育・学習支援事業
13. 公務（上記業種に含まれない公務）

その他

問8) あなたの職種をお答えください

1. 事務職
2. 医療・看護・保健職
3. 販売・営業職
4. 製造・修理・塗装等の現場職
5. 建築・土木・電気工事職
6. 保育・教育職

- 7. 福祉・介護職
- 8. サービス職（他の選択肢の内容以外）
- 9. 研究職（大学教員含む）
- 10. 管理職
- 11. 法務・経営・文化芸術等の専門職
- 12. 運搬・清掃職
- その他

問 9）あなたが勤めている企業・団体・組織 全体の従業員数をお答えください

- 1. 5 人以下
- 2. 6～20 人
- 3. 21～50 人
- 4. 51～100 人
- 5. 101～300 人
- 6. 301 人以上
- 7. わからない（不明）
- その他

問 10）あなたが所属する部門（同じ業務を行っている課・係・チーム）の従業員数をお答えください

- 1. 5 人以下
- 2. 6～10 人
- 3. 11～20 人
- 4. 21 人以上
- 5. わからない（不明）
- その他

問 11）職場での日頃のコミュニケーションについてお答えください（複数回答可）

- 1. 会社や上司にモノを言いやすい空気がある
- 2. 日頃から休みが取りやすい
- 3. 社員同士で感謝し合う
- 4. 社員同士で挨拶し合う
- 5. 社員が言いたいことを言える空気がある
- 6. 雑談できる空気がある
- 7. プライベートなことを本音で話せる人がいる
- 8. 仕事以外のことは話せない雰囲気がある

9. 暗黙のルール（全員に挨拶する等）があり有休を取りづらい
その他

問 12) あなたがフォローしているのはどのような従業員または上司ですか（複数回答可）

1. 産休・育休中の女性従業員
2. 産休・育休中の女性上司
3. 時短勤務の女性従業員
4. 時短勤務の女性上司
5. 育休・産後パパ育休中の男性従業員
6. 育休・産後パパ育休中の男性上司
7. 時短勤務中の男性従業員
8. 時短勤務中の男性上司

その他

問 13) あなたがフォローしている従業員や上司が産休・育休・時短勤務を利用する前に
「会社・組織・団体・上司」からあった説明や対応を全てお答えください（複数回答可）

1. 特に説明・指示はなかった
2. 産休・育休・時短勤務の期間が伝えられた
3. 代替要員（派遣・パート・他部署からのフォロー要員など）が来ることを聞いた
4. フォロー業務の分担・担当の変更などが決められた
5. 産休・育休・時短勤務者に対し制度利用前にマニュアルを作成するよう指示があった
6. 部門全体の業務量の軽減措置があった
7. 業務の棚卸があった（業務内容と進め方を整理する対応があった）
8. 1 業務を 2 人で担当するなどフォローチームが作られた

その他

問 14) フォローする従業員の業務効率化のために会社が導入・活用・許可したものを全て
お答えください（複数回答可）

1. IT 機器（スマホ・タブレット等）が支給された
2. 工場の自動化が進められた
3. 在宅ワークが認められた
4. フレックス勤務が認められた
5. デジタルツール（アプリ、AI 等）が導入された
6. 誰でも対応できるよう業務マニュアルの作成が進められた
7. 個人のスケジュールやタスクがチームで共有できるようになった
8. 時短勤務者にも可能な時には時間延長してもらった

9. なにもない

その他

問 15) 産休・育休・時短利用者がいることで、あなたの仕事の業務量は変わりましたか*

1. 増えた
2. どちらかというが増えた
3. 変わらない (⇒問 18 へ)
4. どちらかというが減った (⇒問 18 へ)
5. 減った (⇒問 18 へ)
6. わからない (⇒問 18 へ)

その他

問 16) (問 15 で増えた・どちらかというが増えたと回答された方) 増えた業務量に対しあなたはどのような対応をしていますか (複数回答可)

1. 1 日の業務時間を増やして対応 (早出、定時後の勤務、在宅勤務時間の延長も含む)
2. 対応可能な範囲の増加であるため業務時間内で対処できる
3. 休日出勤して対応
4. シフトの変更をして対応
5. 有休の予定を変更して対応
6. 自分のスキルや仕事の処理能力を上げて対応
7. チーム内の他の人に仕事を振分けて対応
8. 業務のスリム化や効率をよくする工夫を行って対応
9. ひたすら頑張って対応
10. 特になにもしていない

その他

問 17) (問 15 で増えた・どちらかというが増えたと回答された方) 業務量を減らすためにあなたが行ったことはありますか (問 16 の回答以外で) (複数回答可)

1. 所属する部署の上司に相談
2. 他部署の管理職に相談
3. 人事部署に相談
4. 会社・団体・組織のトップ (経営層) に相談
5. デジタルツール (AI・アプリ等) や自動化できるソフトやシステム導入の提案
6. 業務のアウトソーシングを提案
7. 業務量の見直しやスリム化を提案
8. 特になにもしていない

その他

問 18) 産休・育休・時短利用者に対するフォロー業務についてどう感じていますか（複数回答可）

1. 同じチーム内で助け合うのは当然だ
2. フォローしている感覚はない
2. フォローすることに負担を感じている
3. フォロー業務に全く負担を感じていない
4. 従業員同士ではなく、会社・組織・団体としてとして対策すべきだ
5. フォロー者に対する会社・組織・団体としての対応に満足している
6. そもそもフォローする必要はないと思う
7. 特に感じていることはない

その他

問 19) フォローすることによっての対価（賃金・評価・休暇など）はありますか（ありましたか）（複数回答可）

1. 業務フォロー手当金がある（あった）
2. 昇給・ボーナスなどがある（あった）
3. 人事評価面での加算がある（あった）
4. 今後手当が出る予定がある
5. 休暇が付与される（された）
6. 上司からのねぎらいの言葉がある（あった）
7. 上司や会社から差し入れがある（あった）
8. なにもない

その他

問 20) フォロー業務をする中で感じたこと、起きたことをお答えください（複数回答可）

1. 育児と仕事の両立がしやすい会社だと感じた
2. 子どもを持つことに不安を感じた
3. 職場のチームワークが良くなった
4. 会社・団体・組織の対応・姿勢にがっかりした
5. 上司の代わりに責任ある立場を任せられキャリアアップを考え始めた
6. 転職活動を始めた
7. 仕事でミスが出るようになった
8. 子どもの有無に関わらず働きやすい会社だと感じた
9. 職場の雰囲気が悪くなった

10. 業務量が増えたことで自分のプライベートの時間が減った
 11. 時間を効率的に使う働き方ができるようになった
 12. 未婚や子どものいない人が便利な人に見なされていると感じた
 13. 子育て支援ばかりが手厚いと感じた
 14. フォローされている人の「優遇されて当たり前」の態度にモヤッとした
 15. マタニティ・パタニティハラスメントになることが怖くてフォローされている人に意見や注意ができなかった
 16. フォロー業務は非正規雇用の増加につながっていると思った
 17. 特になし
- その他

問 21) フォロー業務に関するあなたの不満・困りごとはありませんか（複数回答可）

1. 不満・困りごとはない
 2. 子どもがいる人が優先的に有休日や夏休み期間などを選べること
 3. 当日突然、出勤・シフトの交代を依頼されること
 4. 仕事の優先順位や勤務後の予定を変更しなくてはならないこと
 5. 夜間や休日の仕事が当然のようにフォロー業務者に振られること
 6. 引継ぎがなされないままフォロー業務を任されたこと
 7. 負荷が大きい業務を任されたこと
 8. 業務量が増えたこと
 9. 業務量の少ない部署に時短勤務者が優先的に異動できること
 10. お茶当番の回数が増えた
 11. 電話対応の回数が増えた
 12. おみやげ配りの回数が増えた
 13. 掃除・片付け・ゴミ捨ての回数が増えた
 14. コピー（用紙補充、インク取り換え）の回数が増えた
- その他

問 22) フォローする従業員に必要なだと思うことをお答えください（複数回答可）

1. 国や会社によるフォロー手当金の支給
2. 人事評価面での考慮（納得できる評価制度）
3. 管理職による業務のカバー
4. 他部署からのフォロー要員の支援
5. フォロー業務者に対する長期休暇制度の導入
6. フォローされている人からの感謝の言葉
7. 会社・上司・同僚からの感謝の言葉

- 8. 上司との定期的な面談
- 9. 産業医などによるメンタルヘルスケア
- 10. 会社や上司からの差し入れ
- 11. 特に必要なものはない
- その他

問 23) あなたは過去に産休・育休・時短勤務をしてフォローされたことがありますか？

- 1. ある
- 2. ない
- 3. 分からない
- その他

問 24) 育児以外で、今後あなたが長期休暇・時短勤務を使いたい（使うかもしれない）ライフイベントをお答えください（複数回答可）

- 1. 自分自身の健康問題
- 2. 家族の健康問題
- 3. 不妊治療
- 4. 家族の介護
- 5. 留学
- 6. リスキリング（資格取得などのための勉強・進学）
- 7. リフレッシュ
- 8. 子どもの進学
- 9. 推し活
- その他

問 25) すべての人にとって働きやすい職場となるために必要だと思われることをお答えください（複数回答可）

- 1. 助け合い・お互い様の精神
- 2. 日頃から他の社員をフォローすることが評価・対価に反映される仕組み
- 3. 成果や売上だけでなく、目に見えない貢献度も評価する必要
- 4. 多様性を取り入れた企業経営
- 5. 仕事の属人化を解消
- 6. 平時から残業ありきの業務量の見直し
- 7. 希望に応じて社員とパートなど柔軟に働き方を変えられる制度
- 8. 社会全体の長時間労働の是正
- 9. 国による女性活躍政策の見直し

10. 会社・団体・組織のトップ（経営層）の意識改革
 11. 管理職の意識改革
 12. 日頃から従業員同士のコミュニケーションがとれる職場環境
 13. 女性管理職を増やすなど女性活躍政策の加速
 14. 一度退職しても再び雇用されるカムバック制度
 15. 子どもの有無や理由に関わらず、誰でも使える休暇取得や在宅勤務、フレックスの適用など働きやすい仕組み
 16. 雇用形態にかかわらず同一労働同一賃金の実現
 17. 有休日数を増やす
 18. 子育て中の社員が働きやすいようにケアできる制度を整える
 19. 特にない（今のままで十分）
- その他

問 26) フォロー業務について、アンケートの回答を通じて感じた事、思う事などありましたらお書きください。（例えば、フォロー業務をしてよかったことや、業務をする中で戸惑ったこと、フォロー業務に関する改善案 など）（自由記述）